



Title	語文 第88輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2007, 88
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/69091">https://hdl.handle.net/11094/69091</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

今号は、平成一八年四月に着任された加藤洋介准教授の論文を含む、五編の論文が掲載されました。特集を組んだというわけではないのですが、偶々、国語学も含めて、すべて中古の作品を題材とした論文が並びました。

研究室の人の動きとしては、平成一九年三月を以て海野圭介助手が就職のため転出し、代わって仁木夏実氏が助教に就任しました。なお、この四月より、助教授が准教授、助手が助教と呼称を改めました。これは法律の改正に伴うことで、全国大学で一斉の変更となっています。

また春の叙勲では、島津忠夫名誉教授が、瑞宝中綬章を受章されました。嬉しいお知らせとしてご報告申し上げます。

さて、日本文学・国語学の研究スタイルの活動として、これまでの伝統的な研究・教育のスタイルを維持しながらも、新しい共同事業、国際連携事業が目立っています。本年三月四日には、文学研究科と人間文化研究機構・国文学研究資料館の共同主催により、「国際日本文学共同研究集会」国際的相關研究のありかと行方がグランキューブ大阪で開催されました。また、飯倉洋一教授を中心とする「忍頂寺文庫・小野文庫の研究」共同研究グループと国文学研究資料館の共同事業が進行中であり、三月に論文集が発行されました。さらに、荒木浩教授はハーバード大学・ライシャワー研究所との共同研究を進行中であり、研究員の受け入れや、現地でのシンポジウムが計画されています。こういった新しい事業の進展が、本誌の内容に反映される日も近いことでしょう。

（金水敏）

## 語文 第八十八輯

平成十九二〇〇七年六月二十五日 印刷  
平成十九二〇〇七年六月三十日 発行

編集者  
大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一一五

大阪大学大学院文学研究科  
日本文学・国語学研究室

代表 蜂矢真郷

振替口座〇〇九四〇一四一一四六四一  
電話 〇六一六八五〇一五一一

印 刷 亞細亞印刷株式会社